

分布

ヨシノボリ類は、北海道から沖縄まで分布します。このうち、**トウヨシノボリ**は琉球列島を除く日本各地に分布します。



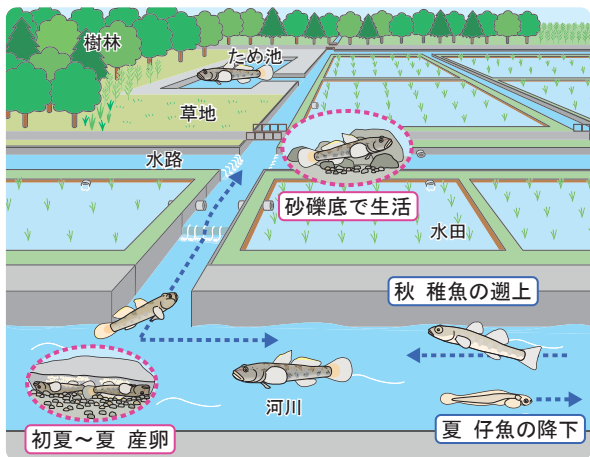
●：「田んぼの生きもの調査」での確認箇所

メモ

日本には、13種類以上のヨシノボリ類が分布しています。このうちトウヨシノボリは、最も分布が広く、止水から流水まで生息しています。

生態

----- : 本来の移動経路 ○----- : 生息環境



主な産卵環境と生息環境

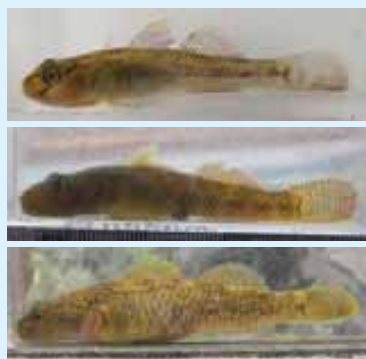
----- : 主な生息環境

樹林・草地	ため池	水田	水路	河川	海
	産卵		産卵	産卵	

生活史

河川や水路、ため池に主に生息し砂底で生活します。初夏から夏に平瀬の石の下に産卵します。孵化した仔魚は海へ降下し、稚魚まで成長した後、河川へ再び遡上します。一生を池や河川内で過ごす個体もあります。

写真



トウヨシノボリ

シマヨシノボリ

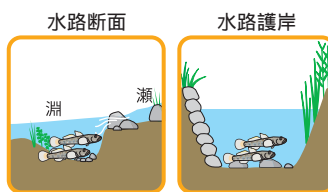
カワヨシノボリ

ヨシノボリ類は多くの種類があります。河川からため池まで広く生息するトウヨシノボリや、河川と海を往復するシマヨシノボリ、一生を河川内で過ごすカワヨシノボリなど、生態もさまざまです。

配慮対策

生息環境の確保 水路、ため池における砂礫底の創出

環境配慮型水路の対象工法



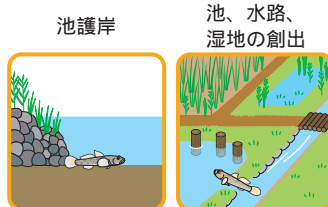
【水路断面】

- 瀬・淵 p.69
- ワンド p.70
- 敷石、砂、砂利、玉石、植生 p.72

【水路護岸】

- 土水路 p.73

保全池・ビオトープの対象工法



【池護岸】

- 複合系 p.86
- (捨石等による緩傾斜護岸)

【池、水路、湿地の創出】

- 保全池 p.90
- 承水路 p.91
- 耕作放棄地等のビオトープ化 p.92

【配慮ポイント】

・生息および産卵環境となる、砂礫底が形成される工夫が必要です。

移動経路の確保 水路内の落差の解消

魚道の対象工法



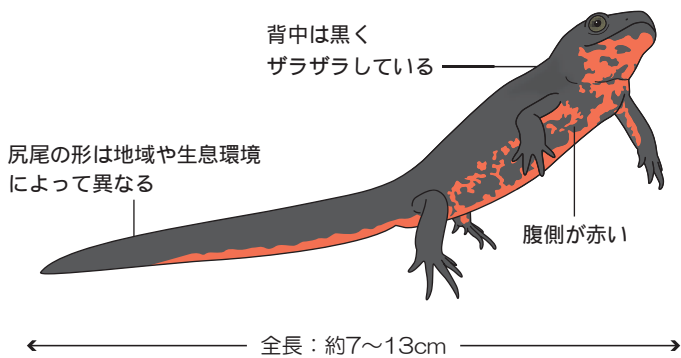
【水路魚道】

- 階段型 p.61
- 隔壁型（千鳥X型） p.62
- 隔壁型（ハコソコ型） p.63
- 片斜面粗石付魚道 p.64

【配慮ポイント】

・水路における生息と遡上・降下を配慮して、水路魚道を設置します。吸盤状の腹びれを持ち、急流でも遡上可能なため、いずれの魚道タイプも適用できます。

別名：ニホンイモリ、イモリ



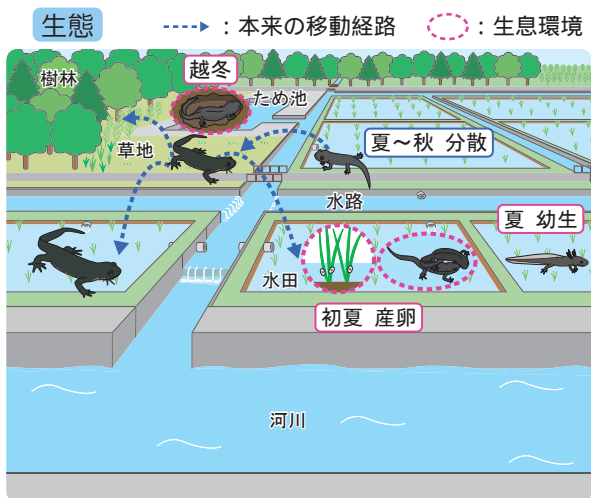
分布

北海道を除く東北地方から九州地方まで広い地域に分布します。



メモ おなかの赤い模様が特徴で名前の由来にもなっています。赤い模様や尻尾の形は地方によってパターンが異なります。

生態



主な産卵環境と生息環境

樹林・草地	ため池	水田	水路	河川	海
	産卵	産卵	産卵		

生活史

平地から山地に生息します。初夏に水田や水路、ため池で産卵を行い、卵を水草や落ち葉に1個ずつ産み付けます。幼生は夏に幼体となり、上陸後は水辺の草地や樹林に分散しますが、水中にとどまる個体もいます。ため池や水路の水底や樹林の土の中で越冬します。

写真

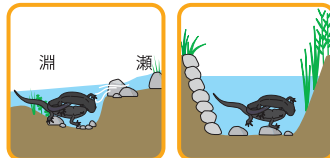


普段は水中にいることが多く、小さな昆虫や魚、オタマジャクシ、ミズミズなどの小動物を好んで食べますが、雑食性でエサが少ないときは落ち葉や水草などの植物質のものも食べています。

配慮対策

生息環境の確保 水草のある水辺環境の創出

環境配慮型水路の対象工法
水路断面 水路護岸



保全池・ピオトープの対象工法
池護岸 池、水路、湿地の創出



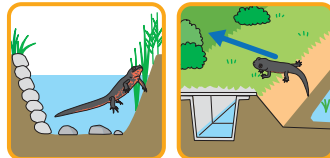
【配慮ポイント】

・産卵環境となる水草の生育、生息や越冬環境となる泥底などを確保する工夫が必要です。

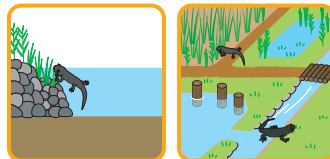
【水路断面】	
瀬・淵	p.69
ワンド	p.70
敷石、砂、砂利、玉石、植生	p.72
【水路護岸】	
土水路	p.73
かご系	p.74
木系	p.75
自然石系	p.76
二次製品系	p.77
【池護岸】	
自然石系	p.85
複合系	p.86
(捨石等による緩傾斜護岸)	
かご系	p.87
木系	p.88
二次製品系	p.89
【池、水路、湿地の創出】	
保全池	p.90
耕作放棄地等のピオトープ化	p.92

移動経路の確保 水域と陸域の連続性の確保

環境配慮型水路の対象工法
水路護岸 その他



保全池・ピオトープの対象工法
池護岸 池、水路、湿地の創出



その他



【配慮ポイント】

・水田や水路、ため池と草地や樹林を往来するため、移動経路となる水域と陸域の連続性を確保する工夫が必要です。

【水路護岸】	
土水路	p.73
二次製品系	p.77
生息環境の確保と同様	
【その他】	
蓋掛け	p.79
【池護岸】	
自然石系	p.85
二次製品系	p.89
生息環境の確保と同様	
【池、水路、湿地の創出】	
承水路	p.91
【その他】	
表土利用による植生回復	p.93